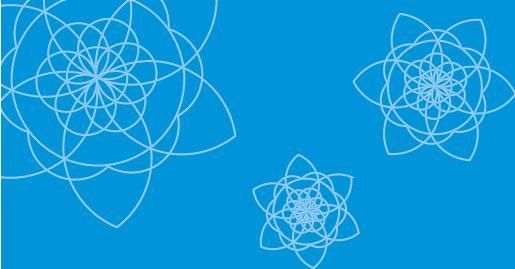


# Living the Lotus

8  
2021

VOL. 191

Buddhism in Everyday Life



立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

**Living the Lotus  
2021年8月号 (Vol. 191)**

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1

普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 赤川恵一

編集チーフ: 長田健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ



開祖隨感

## 苦楽をともにする心

仏教は、いくら經典を読んだからといって、それだけでは本当に分かるものではありません。人さまをご法に導き、手どりをしてみて、初めて仏教が本当に分かってくるのです。人の心が本当に分からないと、仏さまのお慈悲がどんなに深いものかが分からぬのです。

お役をいただいた大勢の信者さんをお預かりする人は、なおさらです。こっちが「ああしてほしい」「こうしてほしい」と考えても、人は思うようには動いてくれません。

「どうしたら、みんなに分かってもらえるのだろう」と悩んだり苦しんだり、ときには、投げだしたくなってしまうことがあるかもしれません。自分の力の限界を思い知らされることもあると思うのですが、それが、自分を成長させてくれる学校なのですね。

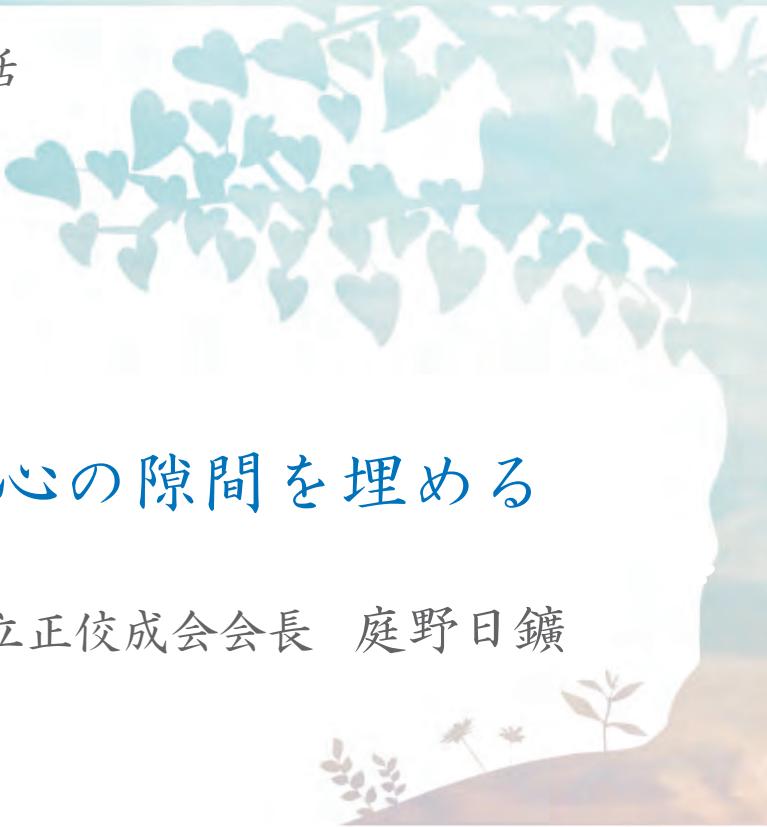
かっとう  
そうした心の葛藤を通してこそ、人さまの心が少しずつ見えるようになってくるのです。すると、仏さまがどんな思いで私たち一人ひとりの目覚めを待っていてくださるか、そのお慈悲の深さが身にしみてきます。その仏さまの思いが分かつただけ、自分に仏さまのお慈悲の心が具わってくるのですね。

(『開祖隨感』10, P. 128-129)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華經を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華經の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。



## 会長法話



# 心の隙間を埋める

立正佼成会会长 庭野日鑛

## 心のなかには鬼も仏も

佛教では、貪欲・瞋恚・愚痴の三つを「人の心を毒する根本的な煩惱」と教えています。何においても必要以上に貪り、満足を知らない心、怒りの心、真実的道理がわからず、目先のことしか考えない心——これらが嫉妬や憎しみや不和を招いて、自分を苦しめるというのです。

「三毒」といわれるこうした煩惱は、人間ならだれにもあるもので、もちろん、釈尊<sup>しゃくそん</sup>にもあったのです。ただ、私たちと釈尊の違いは、欲望や怒りを制御<sup>せいぎょ</sup>できるかどうか、という点です。私たちは、欲や怒りをうまくコントロールできないがために、思わず軽はずみな行動や悪いことをして、よけいな苦しみを背負いこむのです。

そのようなとき、私たちは「つい魔が差して」といったりしますが、その「魔」は「人に害を与える鬼類<sup>おにるい</sup>」とか「人の心を迷わせ、乱し、修行を妨げるもの」といわれます。

ただし、それは外部から私たちの心に侵入してくるものではありません。神や仏が自分の心の写し絵であるのと同じで、魔も鬼も、すべて自分の心のはたらきです。

ところが、幸いなことに、法華経の「陀羅尼品」に「陀羅尼を得たならば、餓鬼<sup>がき</sup>のような鬼どもが人の弱点をさがしてつけ入ろうとしても、つけこむ隙<sup>すき</sup>が見いだせない」とあります。餓鬼とは貪欲の象徴ですから、あれも欲しい、これも欲しいと貪る心が起きかけでも、「陀羅尼」を得れば、その心が暴れだす前に制御できるというのです。

それでは、心のなかの魔や鬼が暴れだす隙を与えない「陀羅尼」とはいったいなんでしょうか。また私たちも、その「陀羅尼」を得ることができるのでしょうか。

## 常精進を助ける言葉

「陀羅尼」について、本会では「あらゆる悪をとどめ、あらゆる善をすすめる力」「それを唱えれば仏の世界にまっすぐにいくことができる神秘的な言葉」と説明しています。もう少しあわかりやすくいえば、「陀羅尼」とは、それを唱えれば、心のなかで動き回る貪りや怒りや自己中心の思いを抑えて、自分のなかにある仏の心をはたらかせる力をもつ、呪文のような言葉ということでしょう。

以前、武士道について書かれた『葉隱』のなかの「跡見よ そわか」という言葉をご紹介しましたが、これは「忘れていることはないか」「もう一度、よく見てごらん」と、自分の行ないをふり返ることをうながす「陀羅尼」です。

「そわか」とは仏への呼びかけの言葉で、円満成就するといった意味もありますから、この言葉が自分のなかの仏への呼びかけとなり、仏心に立ち返るスイッチになるのです。

ついカッと頭に血がのぼりそうになったときなどに、私は心のなかで「おんにこにこ はらたつまいぞや そわか」と唱えます。すると感情の波が静まって、後悔するような言動を慎むことができるのです。

どれほど強い意志をもった人も、鬼や魔にたとえられる貪瞋痴の誘惑にはなかなか勝てません。しかし、心に隙が生じそうなときに自己を省みる「陀羅尼」というスイッチがあれば、魔が動きだす前に隙間を埋めて、心を切り替えることができます。菩薩の道を歩もうと誓いながらも、迷ったり悩んだりすることの多い私たちにそのことを教えるのが「陀羅尼品」ではないかと私は受けとめています。

難しい言葉の意味や理屈がわからなくても、「陀羅尼」を唱えれば心願が成就するといった昔からの用いられ方を見ても、私たちをいつでも精進の道へと引き戻し、元気を与えてくれる力がそこにあるということでしょう。

では、自分にとっての「陀羅尼」とは——それを考え、会得するのもまた、心の隙間を埋める助けになるはずです。

(『佼成』2021年8月号)

# Spiritual Journey

## 人さまのために働きたい

高岡教会  
中山雅史

この体験説法は、『佼成』2021年2月号に掲載された「信仰体験 いのち新生」の内容を一部編集したものです。

私が、繊維製品の製造・販売を営む会社を設立して18年になります。その前に、繊維製品の卸売りを生業とする企業に営業職として26年勤務していたため、気づけばこの業界に身を置いて44年がすぎました。

前職の勤務先は、ファスナーやミシン糸、ボタンなどの服飾製品を衣類の製造会社に卸す、従業員15人ほどの小さな会社でした。活気溢れる明るい職場環境のなか、私はやりがいと楽しみを感じながら働いておりました。

入社して17年、41歳のとき、従業員や取引先を統括する営業部長を任せられました。同時期に妻の恵津子の勧めで立正佼成会高岡教会の壮年部活動に参加しはじめました。日常の悩みを仏さまのみ教えに照らして学び合う法座や、サンガ宅を訪ねて教えに基づいた生活を確認する手どりなどの活動に励むなか、親身に人の話を聞く壮年サンガの姿にふれ、従業員とのかかわり方を見直すようになっていきました。

その後、バブル崩壊による不況のあおりを受け、取引先である製造業者が次々に倒産する事態となり、わが社の受注件数も徐々に減っていました。

経営状況が厳しくなったことで、これまで温厚だった社長の態度が一変。従業員とあいさつも交わさず、必要なことはすべてメモ書きにするなど、コミュニケーションをとらなくなってしまったのです。加えて、だれかがミスをすれば激しく罵倒し、成果をあげてもほめ言葉一つかけてくれません。われわれ従業員も社長への不信感を募らせ、社内の雰囲気は殺伐していました。

そんな状況がつらくなかった私は、教会道場で行なわれた壮年部の夜間法座に参加し、沼田雄司教会長さん(現在は布教相談役)に、会社での一部始終を話しました。すると沼田教会長さんは、「中山さん、私の部屋には花が生けてあります。私は毎朝花にあいさつをしますが、花は返事をしてくれません。自ら率先してあいさつをさせていただけばいいのです。用事をメモ書きしてください。そんな親切でていねいな社長さんはなかなかいませんよ。人にはそれぞれの思いがあります。中山さんには、社長さんと従業員との潤滑油になるお役があるのでないですか」と助言してくださいました。

目からウロコが落ちるような衝撃でした。私自身、ほかの従業員と同様に、経営状況が悪くなったことや、社内の雰囲気が悪化したことは、すべて社長の責任だと、心のなかで責めていました。しかし、そんな社長を「親切でていねい」という別の視点で見ることを、沼田教会長さんは教えてくださったのです。



高岡教会で「北陸六花の会」世話を務める中山さん

翌日から私は、社長に元気なあいさつを心がけました。すると、社長からの返事がなくても、心をこめてあいさつできたことが喜びとなっていきました。さらに、自分の色眼鏡をはずして社長の姿を思い出してみると、だれよりも早く出社して掃除している様子が脳裏に浮かんできました。私たちが心地よく働けるように、社長は何も言わず黙々ととりくんでいたことに気づいたのです。

私も社長とともに朝早く出勤し、事務所内の掃除をしました。すると、「中山さん、ありがとう」と社長から声をかけてもらい、隔たりを感じていた社長との距離が、少しずつ元に戻っていくのを感じたのです。朝礼では、毎朝社長が掃除をしてくれていることへの感謝の思いを発表しました。それが、沼田教會長さんから教えていたいたい、「社長と従業員との潤滑油になる」と思ったからです。厳しい社長が、じつは自分たちのことを思って掃除をしてくれていたのだと知り、みんな驚いているようでした。

壮年部活動で「自分が変われば、相手が変わる」と教わっていましたが、社長や従業員の変化を目の当たりにして、教えが真実であることを肌で感じました。

それ以来、殺伐としていた雰囲気が少しづつ和やかさを取り戻していったのですが、その一方で、会社の資金繰りはひっ迫の度合いを強めていきました。

平成14年9月下旬の朝、いつもどおり出勤すると、事務所の入り口に張り紙がしてあります。それは告示書で、倒産を知らせる内容が記されていました。心のどこかで覚悟はしていたものの、突然のできごとに立ち尽くしていると、事態を聞きつけた取引先から「社長と連絡

が取れない」という問い合わせが私の携帯電話に相次ぎ、その対応に追われることになったのです。

多くの方から心配の声が寄せられるなか、私は「こうなった以上、債権者やお客さまにお詫びをしてまわろう」と決意しました。それが営業部長としての務めだと思ったからです。その日の午後に教会道場を訪れ、自らの意思を沼田教會長さんに聞いていただくと、「真心をこめてお詫びに歩いてください」と背中を押してくださいました。善は急げといいます。私はその足で、富山県内に三百軒ほどある取引先を一軒一軒まわらせていただくことにしました。

「このたびは、ご迷惑をおかけしてしまい、たいへん申し訳ございませんでした！」

お客さま一人ひとりの顔を見ながら頭を下げました。そのうえで、できる限りのことをさせていただきたいと思い、困りごとに耳を傾けました。「お宅の会社の製品が仕入れられない」と困る」という声を聞き、市内の同業他社から同じ製品を手配する場面もあり、皆さまの声に真心こめて対応させていただきました。すると、苦情を言われる方はほとんどおらず、むしろ私の行き先を心配してくださる方が何人もいました。なかには、「あんたが会社をつくればいい」と言って、資金協力を申し出てくださる方もいて、感謝の思いで胸がいっぱいになりました。

思い返せばここ数年、営業部長という役職にあぐらをかき、惰性に流されて日々の業務をこなしていました。仏教には、人さまのために尽くす行ないとして「六波羅蜜」の教えがありますが、私はその逆でした。「商品を売ってやっている」という思い上がりだけでなく、お客さま

# Spiritual Journey

を敬う心さえ薄れていきました。さらには、他の従業員と同じように、社長に対しての怒りを抱えていたのも事実です。

私は会社の倒産とその後の行脚をとおして、仏さまから自分の生き方をいま一度見つめ直し、働く姿勢をあらためる機縁をいただいたのだと受けとめることができました。

一か月間にわたる行脚を終えた私の心には、ある思いが芽生えていました。それは、「私を心配し、支援を申し出てくださった人の思いに応えたい」というものでした。そして、その心は会社設立の意志へつながっていきました。私はすぐにその気持ちを沼田教會長さんに聞いていただき、会社設立に向けた資金面や事務所の必要性などといった具体的なアドバイスをもらうことができました。

前職でミシン糸やボタンなどの仕入れ業務も担当していたため、ご縁のあった卸売業者を訪ね、品物を入れてくれるようにお願いしました。元手がないために一度は断られたのですが、ありがたいことに、金沢市内の子会社を紹介してもらい、そこでの資材の卸売や製品の製造・販売事業を、個人事業主として請け負わせてもらうことになったのです。

また、仕入れた商品を備蓄しておく倉庫や作業をするための事務所も、かつて取り引きのあった会社の社長が、「中山さんが事業をするなら、うちの倉庫が空いているから、好きに使ってよ」と提供してくださるなど、うれしいお手配を頂戴し、会社の設立にこぎつけることができました。

前の会社の倒産から二か月後、私は個人事業主としてミシン糸やボタンなどの繊維資材の卸売販売と、

病院用の枕カバーや防水シーツ、ホテルなどで使用するナフキンなどを製造・販売する事業をはじめました。このとき私は、「お客様の相談に乗り、できる限りお役に立てるふれあいをすること」「納期は必ず守ること」の二点を心に誓ったのです。

営業先では商談だけでなく、世間話をしたり、困りごとを聞かせていただいたら、今まで以上に積極的に相手の方とふれあうように努めました。「古いミシンが壊れてしまった」と聞けば、ミシンを修繕する業者を探したり、「中山さんのところで子ども服の縫製をお願いできないだろうか」といった相談が寄せられれば、子ども服を製造している会社を紹介したりしました。

また、電球の交換や事務所内の配置換えの手伝いなども率先して行ないました。すると、喜んでいただけるだけでなく、先方から仕事を紹介してもらえることもあり、人と人とのつながりの大切さをあらためて実感したのです。

仕事が軌道に乗ってきた平成30年12月、私の経営者としてのあり方と、働き方に対する明確な指針をいたたく機会がありました。それは、校成会本部の大聖堂で開かれた、第一回「仏教精神に学ぶ経営者の集い」です。

『ど真剣は未来を変える』というとてもインパクトのあるテーマが掲げられており、事業経営に携わる全国のサンガが集いました。そこでは、経営危機に瀕していた会社を再建させた参加者の体験やグループ討議を通じて、経営の極意を学ばせていただくことができたのです。

何気ない気持ちで参加した集いでしたが、「仏教精神を生かして地域社会に貢献しよう」という参加者の高い志にふれ、私自身、目の覚めるような思いでした。こ

# Spiritual Journey

これまで漠然と「仕事を通して人さまのお役に立ちたい」と感じていたものの、皆さんのお話から「六波羅蜜」のなかの人さまのために実践する「布施」が、その第一義であることを確信いたしました。このとき私は、以前から心に留めていた開祖さまの「誠実と親切、この二つを貫きとおせば、人は必ず認め、心を動かしてくれます」(『人生、心がけ』より)というお言葉と照らし合わせ、誠実に、そして親切に、「布施」を行っていくことが大切なのだと再確認させていただきました。

集いで学びを生かし、私は「朝夕のご供養を欠かさない」「『六波羅蜜』の実践(とくに布施行)」「経営者は利己の心を抑え、利他の心を育む」という三つの誓いを立てました。すると、ご供養を通して心が整い、「布施」の行ないを意識するなかで、今まで以上にお客さまと真摯に向き合うことができるようになったと感じています。

コロナ禍により、業務の一部が減りましたが、新規のお客さまからの注文が入るというご縁もいただき、忙しい日々を送っています。

今、つくづく感じていることは、仕事は決して一人で成り立つわけではないということ。資材や繊維製品を購入してくださる方、病院に搬入するシーツなどの繊維製品を縫製してくださる方、そして商品を購入し、使ってくださる方……。私は、多くの方に支えていただいて仕事ができているのだと思っています。

これからも、「人さまのために」を心に刻みながら、仕事を通じた菩薩行に精進してまいりたいと思います。



製造したシーツを搬入する中山さん

# まんが 立正佼成会入門

今月号からは、庭野日敬開祖の生涯と立正佼成会の歴史について、わかりやすくお伝えします。

## 開祖さまの生涯と立正佼成会の歴史

### 開祖さまってどんな人？

立正佼成会の創立者は、庭野日敬開祖（以下、開祖さま）です。開祖さまはいつも、  
にこにこと笑顔で会員に語りかけ、法華経をわかりやすく説き示しました。

開祖さまは1906年、新潟県十日町市菅沼に生まれました。小学校を卒業すると、すぐ働きはじめ、その後、東京に出ました。東京では一生懸命働きながら、多くの人を救いたいとの願いから、さまざまな信仰を体験しました。そして、法華経とめぐり合い、「すべての人を救う教え」と感じた開祖さまは1938年、立正佼成会を創立したのです。

以来、開祖さまは多くの人に法華経の教えを伝え、幸せへと導きました。

また、国民的規模で善意の輪を広げていくことを目的とした「明るい社会づくり運動」を提唱するとともに、世界平和を実現するために世界の宗教者に呼びかけて、宗教間の対話を実践しました。

1999年、満92歳で亡くなりました。



※私的使用を除き、無断で複製・転載をしないでください。

『まんが立正校成会入門』は、校成ショップにて好評発売中です。  
<https://www.koseishop.com/>

## おじいちゃんの教え



若いころの開祖さま(幼名は鹿藏しかぞう)はおじいちゃん子でした。毎日、元気に遊びまわる開祖さまを、おじいちゃんじゅうたろう(重太郎)はいつもあたたかな目で見守っていました。

冬、雪遊びをして冷えた体で帰ってくる開祖さまを裸にして背負い、肌のぬくもりであたためてくれたおじいちゃん。そして「人さまのためになる人間になるんだぞ」と話して聞かせるのでした。

「私が仏の道を説く人間になったことは、祖父の口癖が一つの大きな原因」と開祖さまは話しています。



### 豆知識

開祖さまのおじいちゃんは、急病人が出るとすぐに駆けつけて手当てをしたり、たずねてきた人にお灸をしてあげたりした。医者のいない山村でおじいちゃんはなくてはならない人だった。

# Director's Column

## 陀羅尼からいただいた不思議

国際伝道部長

赤川惠一

会長先生は今月号のご法話で陀羅尼についてお説きくださいました。陀羅尼が「仏の世界にまっすぐにいくことができる神秘的な言葉」であることを感じた、私の個人的な体験をお話しさせていただきます。

18年ほど前に現在の我家へ引っ越した当時、すぐ近所の交差点では交通事故が頻繁に起きていました。そこは住宅街で、幹線道路のため車の往来は多いものの、信号機のある見晴らしの良い十字路です。車同士の衝突する大音がして救急車のサイレンが聞こえてくる度に肝を冷やしたものでした。

その頃から妻は、行き交う車の安全を祈願し、朝夕の読経供養で陀羅尼を毎回10回唱える修行を自分に課し、現在も続けておりますが、始めてから1年もないうちに衝突事故が1件も起きなくなるという不思議をいただきました。

陀羅尼読誦と交通事故消失とがどのような因果関係で結ばれているのかは分かりませんが、安心できる日常を願う妻の真剣な思いが不思議をもたらしたのかもしれません。

そして何よりも一番の不思議は、陀羅尼読誦をとおして自分たちの心を省みることができたせいか、夫婦間の衝突事故もいつの間にか消えてしまったことなのかも知れませんね。合掌



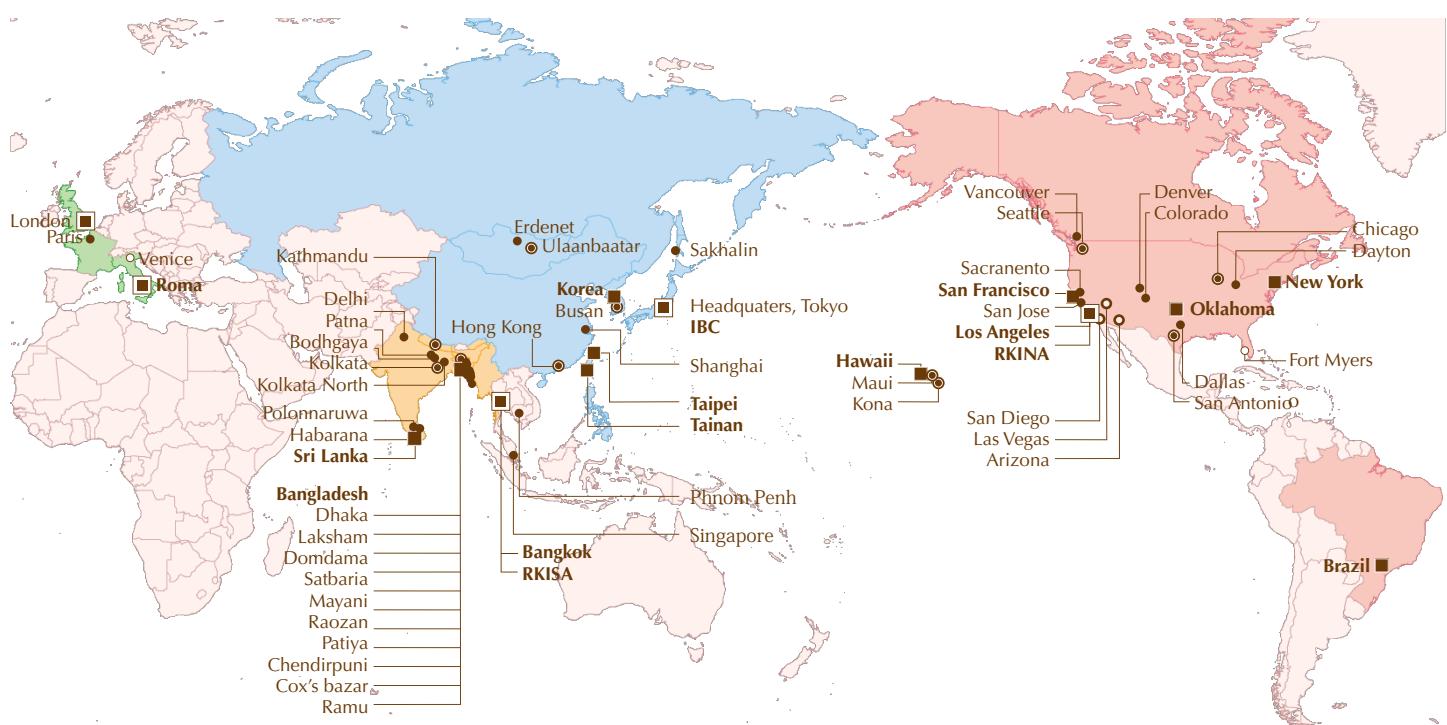
Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)



# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
 (Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
 TEL: 1-650-359-6951 Email: [info@rksf.org](mailto:info@rksf.org)

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

**Rissho Kosei-kai of Sacramento**  
**Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
 TEL: 1-212-867-5677 Email: [rkn39@gmail.com](mailto:rkn39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
 TEL: 1-773-842-5654  
 Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
 (Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
 Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809, Denver, CO 80204, USA  
 TEL: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: [info@rkina.org](mailto:info@rkina.org)  
 URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA  
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745  
 Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
 TEL: 1-253-945-0024 Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefano 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
 Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>

**在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai**  
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部 Korean Rissho Kosei-kai of Busan**  
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei**  
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan**  
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koscikaitainan@gmail.com

**Rissho Kosei-kai South Asia Division**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**  
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai Society of Kolkata**  
89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**  
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**  
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**  
Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**  
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Singapore**  
Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**  
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Bangkok**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei Dhamma Foundation**  
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**  
Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

**Rissho Kosei-kai Bangladesh**  
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL: 880-2-41360470

**Rissho Kosei-kai Mayani**  
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Damdama**  
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Satbaria**  
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Chendhirpuni**  
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Raozan**  
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Laksham**  
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Dhaka North**  
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar**  
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Patiya**

**Rissho Kosei-kai Ramu**

**Rissho Kosei-kai Aburkhil**

**Buddiyskiy khram "Lotos"**

4 Gruziinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia  
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Erdenet**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

**Rissho Kosei-kai of Paris**

**Rissho Kosei-kai of Venezia**

**Rissho Kosei-kai of the UK**

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK  
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org  
Facebook: https://www.facebook.com/rkuk.official  
Twitter: https://twitter.com/rkuk\_official  
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk\_official

**Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)**  
166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org